

(活動報告書様式)

団体名	特定非営利活動法人W i t h 優		
事業名	「食」で繋がる地域教育支援事業		
助成事業区分	協働助成事業（テーマ希望型） 【テーマ：(株)蔵王サプライズ55周年 「食」から築く子どもの健全育成支援事業】		
団体の 所在市町村	米沢市	事業費	549,706 円
		うち助成金額	500,000 円



■ 事業目的

子どもの貧困については昨今メディアでも取り上げられることが多くなったが、貧困の問題が背景にあり、不登校や引きこもり等の、二次的、三次的な課題を抱えている子ども達も多い。本事業では、当法人で関わる不登校生徒及び生活保護を受給している世帯のお子さんを対象に、地域の郷土を体を通して知り、郷土料理を学び、交流する体験を通して、子ども達の地域への愛着心を育み、自己肯定感を高めていくと共に地域の方に子ども食堂、子どもの貧困問題について考えてもらうきっかけを作ることを目的とした。

■ 実施内容

① 最上川の源流で郷土を知る体験イベント

当法人のフリースクール生徒及び生活に困窮している世帯のお子さんを対象に、最上川の源流にある大平温泉まで市内から徒歩で目指し、途中では地元の蕎麦農家の方との交流、現地では女将さんから

郷土料理について紹介いただきながら食を通じた交流を深めた。翌日も徒歩で山道を下り、郷土を体を通して体験するイベントを実施した。9/12に下見を行い、9/23～24にかけて開催した。

② 子ども達が中心に行う子ども食堂イベント

法人の運営するフリースクールのカフェレストランの休業期間である12月の土曜日を利用してフリースクールの子ども達が主体となって子ども食堂を2回開催した。事前に山形市のみどり町こどもひろばのスタッフの方をお呼びして、子ども食堂の実態や子どもの貧困問題についてもレクチャーし、チラシを作成して12/8.14に開催した。

■ 事業の成果及び今後の展望

① 事業の成果

本事業においては大きく2つのイベントを実施、何より子どもの時に何か挑戦したり、仲間と励まし合ったり、「良い思い出」を持って成長していくことは大切なこと

であり、本事業ではなかなかそのような経験をしたことのない子ども達へ挑戦する機会を与えることが出来た。最上川の源流を目指す体験イベント（写真①、②）には11名が参加、参加者の中には温泉に宿泊するのは人生で初めてという若者もいた。子ども達が中心に行う子ども食堂イベント（写真③）では2回の開催で延べ52名が参加、地域の方はもちろん、法人で関わりを持っている生活に困窮されている世帯のお子さんも参加することが出来、フリースクールの生徒も準備から片付けまで意欲的に参加することが出来た。

② 今後の展望

自分達の暮らす街の中で行ったことがない場所、素敵な場所や人はたくさんおり、次年度以降も学校外で挑戦できるイベントとしてフリースクールの生徒に関わらず、より多くの地域の方を巻き込み、地域の自然や食、人について学び、挑戦する過程から自分を認めていける事業を展開していきたい。